

今月の特集関連本②



『臨床泌尿器科』2024年3月号 (Vol.78 No.3)
特集 今こそ考えよう!
尿路結石の再発予防

納谷幸男＝企画
定価 3,190 円／B5 判・80 頁／医学書院／2024

2015 年の疫学調査でわが国の上部尿路結石症患者は人口 10 万人あたり 138 人と、1995 年と比較し約 1.6 倍増加した。その一方で、結石を予防する手立ては昔から変化なく、飲水と食事指導、生活習慣の改善だ。高齢者の結石が増える中、水を飲め飲めと言うだけでよいのか？ 薬剤による予防、サプリメントの使用はどのくらい有用なのか？ 感染結石はどう予防したらよいのか？ 尿管ステントの閉塞にはどう対処するのがよいのか？ 本特集では、結石の再発予防という古くて新しいテーマで、気鋭の先生方に執筆してもらった。



すぐ・よく・わかる
急性腹症のトリセツ

高木 篤、真弓俊彦、山中克郎、岩田充永＝編著
定価 4,180 円／B5 判・192 頁／医学書院／2020

急性腹症だからこそ、画像に頼らず、病歴と身体所見が重要になる。本書は、疾患の本質を端的にイメージさせるイラスト＋解説（診療のポイントと pitfall）をバランスよく配置し、経験豊富な編著者らの診療経験から tips (clinical pearl) の数々を披露。本書を読破した読者は、急性腹症の発生メカニズムに基づいた最小限の労力で診断できるコツを会得すること間違いなし。



腹痛の「なぜ？」がわかる本
痛みのメカニズムがみえれば診療が変わる！

腹痛を「考える」会＝著
定価 4,400 円／A5 判・266 頁／医学書院／2020

謎多き腹痛のメカニズムをわかりやすく説き起こし、その診かた・考え方を解説する画期的な診療本。まるでお腹の中が見えているかのようなリアルな病態解説と、それに基づく論理的かつ説得力のある診断推論は感動すら覚えるほど。持続痛・間欠痛・消長痛といった痛みの種類による主訴の違いや、陥りやすいピットフォールなど、“今日の臨床”で役立つポイントも盛りだくさんだ。腹痛を診る機会のある医師にとって必読の 1 冊。